

HPVワクチン接種は まだ間に合います！

対象の方

高校1年生～27歳の女性
(平成9年度生まれ～平成20年度生まれ)

秋田県の皆様にお知らせです。

最近、HPVワクチンについてポスターやCMなどで目にすることが増えたのではないのでしょうか？

高校1年生+キャッチアップ世代の方への無料接種期間の期限が2025年の3月までとあと6ヶ月を切りました。(期限を過ぎると1回3万円以上)

そのため、医療機関、行政が力を合わせ、周知に力を入れております。

HPVワクチンは子宮頸がんを効果的に予防することができるワクチンです。

その接種スケジュールが一部変更になりました。

今までは初回接種を9月までに接種しないと間に合わないとお伝えしてきましたが、厚生労働省より短縮スケジュールでも同様の効果が得られると発表されました。

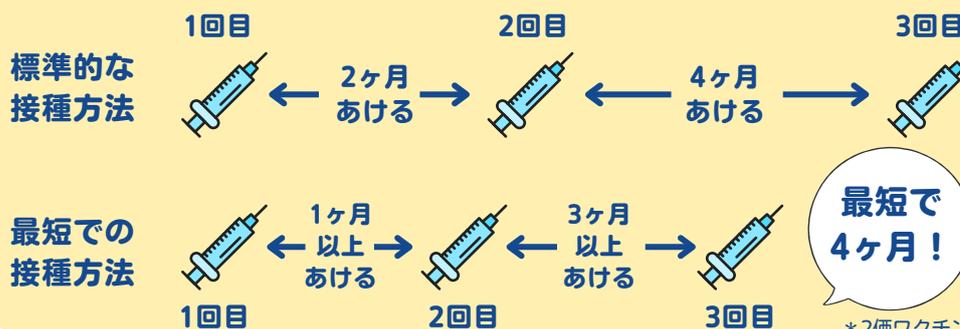
短縮スケジュールでは、

11月28日までに初回接種を行えば、無料で3回接種できます。

詳しい情報は下記QRコード&裏面をご確認ください。

HPVワクチン接種スケジュール

4・9価の場合



秋田大学発

秋田県内の接種方法は
こちらを確認！

秋田大学医学生が作成した
県内接種情報をまとめました！！



厚生労働省HP

HPVワクチンについて詳しく
知りたい方はこちらをご確認ください！



もっと知りたい

子宮頸がん

秋田県医師会

自分のため、大切な人のため、一緒に学びましょう。

Q & A

子宮頸がんってなに？

子宮頸部（子宮の入り口）にできる「がん」のことです。

主にHPV感染が原因です。自覚症状がないまま進行するため、ウイルス感染予防と定期的ながん検診が必要です。

日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、約3,000人の女性が亡くなっています。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう人も、1年間に約1,000人います。

ヒトパピローマウイルス(HPV)ってなに？

子宮頸がんや尖圭コンジローマの原因となるウイルスです。

性交経験のある人の8割前後が感染すると言われていて、すごく身近にいるウイルスです。

男性の肛門がんや咽頭がんの原因にもなります。

HPVワクチンってなに？

HPV感染を予防してくれるワクチンです。

とても効果的で、セクシャルデビュー前に接種すると特に効果的です。

HPV感染を9割以上予防できることが示されました。

また、その効果は長期間残るため、複数の国でワクチン接種で子宮頸がんを8割以上予防できたことが報告されています。

若い世代で3回ワクチンを打つだけで、将来の子宮頸がんを予防できる女性の味方です。

中学3年生未満は接種できないの？

定期接種（小学校6年～高校1年生）の助成は今後も続くのでご安心ください。一時的な接種勧奨差し控えの影響でワクチン接種の機会の逃した方への救済措置としてキャッチアップ接種を行なっております。小学6年生になったらできるだけ早く接種するのがおすすめです。

子宮頸がんは、しっかり予防と早期発見ができれば自分の将来を脅かす病気ではありません。
20歳を過ぎたら2年に1度のがん検診も忘れずに！